



2007 年 5 月 7 日

報道関係各位



**“相場水準の予想”を投資に生かす！
高度な投資戦略をカバード・ワラントで実現
「ニアピン e ワラント」
5月14日(月)より取り扱い開始**

ゴールドマン・サックス証券株式会社(社長:持田昌典、所在地:東京都港区;以下「ゴールドマン・サックス証券」)は、2007年5月14日(月)より、「ニアピンeワラント」の取り扱いを開始します。

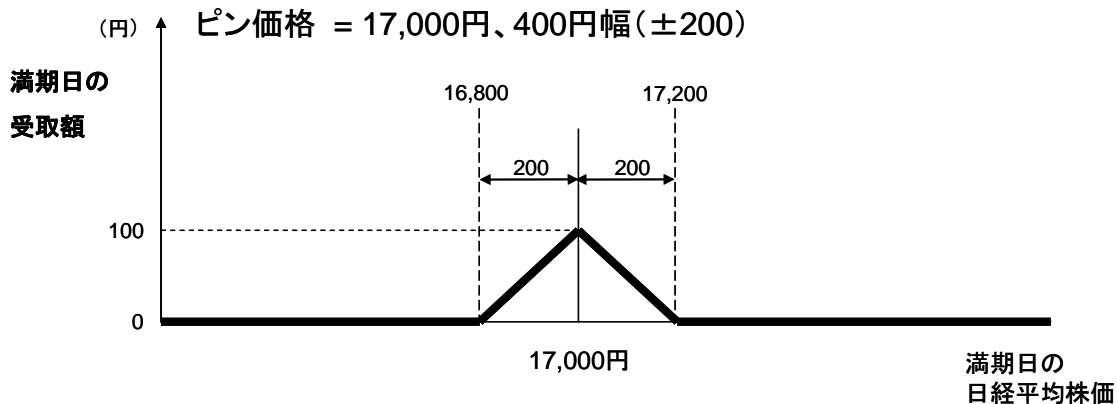
「株式投資を始めてみたけれど、良く分からない。」「勉強することが多くて楽しくない。」という方は意外と多いかもしれません。そこで、ゴールドマン・サックスが今までプロ投資家だけのものと考えられていた投資戦略をカバード・ワラントにパッケージ化し、個人投資家に新たな投資機会を提供するために開発した金融商品が「ニアピン e ワラント」です。

高度な投資法を分かりやすい仕組みで提供

ニアピン e ワラントによって、個人投資家が容易に利用できるようになる投資戦略は“ロングバタフライ”といわれる高度なオプション投資戦略です。この戦略は、主に特定の価格帯に相場が収まる、あるいは値動きが少ないといった相場環境から収益を得ることを目的として利用されます。上場株価指数オプションを用いても似たようなポジションを取ることが可能ですが、複数のオプションを同時に売買する必要があるため、売買執行のタイミングや資金面の制約から、個人投資家には使いにくい戦略と考えられていました。

今回発行されるニアピン e ワラントの投資対象は、代表的な株価指数である日経平均株価(日経平均)です。これが上がるか下がるかを考えるのではなく、一定期間後にどの程度の価格になっているかという相場観に基づいて投資します。具体的には、予想価格に近い“ピン価格”のニアピン e ワラントを購入し、近ければ近いほど受け取り金額が多いという仕組みです。1-2ヵ月後の所定の日(日経平均が“ピン価格”と一致すれば)1ワラントあたり100円(最小投資単位の1000ワラントで10万円)受け取ることができ、一致しなくてもプラスマイナス200円までなら部分的に受け取りが発生します(ニアピン e ワラントの“ピン価格”は200円間隔で設定されます)。つまり、株価指数を対象にゴルフでいう“ニアピン”を狙うような金融商品です。このように、従来はプロだけのものと考えられていた投資法が、ニアピン e ワラントを使えば、個人投資家も容易に実現できるようになります。

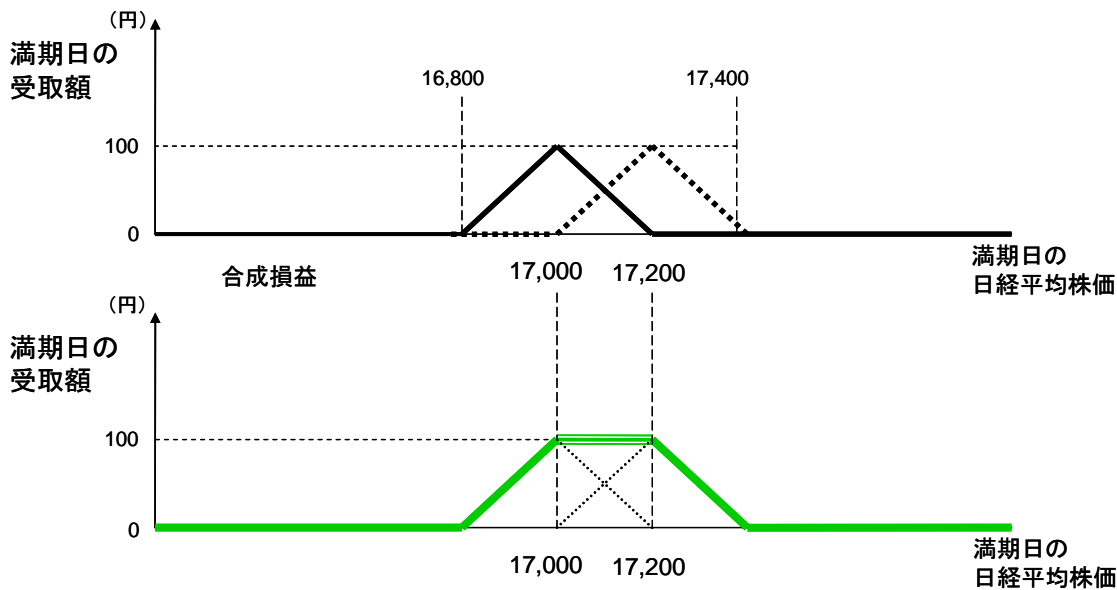
(満期時の受取金額イメージ図、1 ワラント当たり)



例えば 17,000 円のピン価格をもつニアピン e ワラントの場合、満期時の日経平均が 17,000 円であれば 1 ワラント当たり 100 円(最小投資単位の 1000 ワラントで 10 万円)受け取ることができます。満期時の日経平均が 50 円予想価格から離れて 17,050 円なら 1 ワラント当たり 75 円(1000 ワラントで 75,000 円)、100 円予想価格から離れて 16,900 円なら 50 円(1000 ワラントで 50,000 円)の受け取りになります。200 円以上予想価格から離れてしまうと、受け取り金額はありません(投資金額全額が損失になります)。

組み合わせで更に高度な投資戦略も容易に実行できる

ニアピン e ワラントを 1 銘柄だけ購入した場合は、満期時に満額の 100 円(1,000 ワラントで 10 万円)受け取ることができるのはピン価格の 1 点だけです。ところが、連続して隣り合うニアピン e ワラントを購入すれば、満期時の 2 つのニアピン e ワラントの受取金額を合わせると、隣り合うピン価格の間(200 円の価格帯)ではどこでも 100 円受け取ることができます。これはロングコンドルと呼ばれる投資戦略で、一定の範囲内に相場が収まるだろうという相場観に基づいた投資法です。



隣り合ったニアピンeワラントを購入すると、満期時に100円受け取ることができる範囲が点から線のレンジに広がる。ただし、購入代金が増えることに注意が必要。

e ワラント及びニアピン e ワラントへの投資にあたっては、こちらの手数料及びリスクに関する説明を必ずお読みください <http://www.ewarrant.co.jp/beginner/index2.html>

夜でも取引できる

ニアピン e ワラントの取引時間は 9:00 から 23:50 まで(取引停止時を除く、また満期日の前日は 9:00-15:00 の買い取りのみ)。日中は忙しくて時間がない方も、夜ならじっくり投資戦略を練ることができるでしょう。さらに、途中で損益を確定したくなったり、相場観が変わったりしたら、途中で売却することもできます。まさに、ゴールドマン・サックスの最新の金融テクノロジーによって生まれた商品

上場株価指数オプション利用者にとっても魅力的な金融商品

ニアピン e ワラントは、現在、上場株価指数オプション取引を利用している投資家にとっても使い勝手の良い商品になると考えられます。例えば、上場株価指数オプションは 500 円間隔で権利行使価格が設定されるため、ニアピン e ワラントのように 200 円刻みでポジションを組むことはできません。また、ニアピン e ワラントなら、ゴールドマン・サックスがマーケット・メイクを行うことにより、現在の株価指数から離れたポジションを取ることも、夜に取引を行うことも、希望のピン価格を持つニアピン e ワラントを売買するだけなのでとても簡単です(売買停止時を除く)。

取扱証券会社

「ニアピン e ワラント」の取り扱いは、ニアピン e ワラントの取り扱い開始は 5 月 14 日からイー・トレード証券、松井証券、マネックス証券(50音順)で取り扱いを開始する予定です。また、カブドットコム証券、楽天証券(50音順)では、6 月中に取り扱いを開始する予定です。

「ニアピン e ワラント」の投資例

仮に、購入時の日経平均が 16,900 円、満期まで 30 日あるとします。

30 日後の満期日に日経平均が 17,000 円前後になると予測し、ピン価格 17,000 円のニアピン e ワラントを 15 円で 1,000 ワラント購入した場合(購入代金計 15,000 円、手数料別)、



(イメージ図、データ出所:ロイター)

ケース A: 満期日の日経平均が 17,100 円(ピン価格から 100 円離れている)

受取金は 50 円 = $100 \text{円} - 0.5 \times (17,100 - 17,000)$ - 投資金額の約 3.3 倍

ケース B: 満期日の日経平均が 17,000 円(ピン価格と一致)

e ワラント及びニアピン e ワラントへの投資にあたっては、こちらの手数料及びリスクに関する説明を必ずお読みください <http://www.ewarrant.co.jp/beginner/index2.html>

受取金は 100 円 --- 投資金額の約 6.7 倍

ケース C: 満期日の日経平均が 16,000 円(ピン価格から 200 円以上離れている)

受取金はなし --- 投資金額全額が損失

*上記はあくまでも過去の値動きであり、必ずしも予想したとおりの将来の結果を保証するものではなく、何らかの行動を勧誘するものではありません。最終的な投資の判断は、ご自身の責任で行ってください。

銘柄一覧

ニアピン e ワラントは、毎月満期日が設定され、各満期日に対して 20 銘柄のニアピン e ワラントが発行されます。今回発行されるニアピン e ワラントは、以下の 40 銘柄です(6 月満期 20 銘柄、7 月満期 20 銘柄)。

銘柄名	タイプ	ピン価格	ピン価格-200円	ピン価格+200円	満期日	満期時の最大決済金額
ニアピン日経平均1回	ニアピン型	15,400円	15,200円	15,600円	2007年6月20日	100円
ニアピン日経平均2回	ニアピン型	15,600円	15,400円	15,800円	2007年6月20日	100円
ニアピン日経平均3回	ニアピン型	15,800円	15,600円	16,000円	2007年6月20日	100円
ニアピン日経平均4回	ニアピン型	16,000円	15,800円	16,200円	2007年6月20日	100円
ニアピン日経平均5回	ニアピン型	16,200円	16,000円	16,400円	2007年6月20日	100円
ニアピン日経平均6回	ニアピン型	16,400円	16,200円	16,600円	2007年6月20日	100円
ニアピン日経平均7回	ニアピン型	16,600円	16,400円	16,800円	2007年6月20日	100円
ニアピン日経平均8回	ニアピン型	16,800円	16,600円	17,000円	2007年6月20日	100円
ニアピン日経平均9回	ニアピン型	17,000円	16,800円	17,200円	2007年6月20日	100円
ニアピン日経平均10回	ニアピン型	17,200円	17,000円	17,400円	2007年6月20日	100円
ニアピン日経平均11回	ニアピン型	17,400円	17,200円	17,600円	2007年6月20日	100円
ニアピン日経平均12回	ニアピン型	17,600円	17,400円	17,800円	2007年6月20日	100円
ニアピン日経平均13回	ニアピン型	17,800円	17,600円	18,000円	2007年6月20日	100円
ニアピン日経平均14回	ニアピン型	18,000円	17,800円	18,200円	2007年6月20日	100円
ニアピン日経平均15回	ニアピン型	18,200円	18,000円	18,400円	2007年6月20日	100円
ニアピン日経平均16回	ニアピン型	18,400円	18,200円	18,600円	2007年6月20日	100円
ニアピン日経平均17回	ニアピン型	18,600円	18,400円	18,800円	2007年6月20日	100円
ニアピン日経平均18回	ニアピン型	18,800円	18,600円	19,000円	2007年6月20日	100円
ニアピン日経平均19回	ニアピン型	19,000円	18,800円	19,200円	2007年6月20日	100円
ニアピン日経平均20回	ニアピン型	19,200円	19,000円	19,400円	2007年6月20日	100円
ニアピン日経平均21回	ニアピン型	15,400円	15,200円	15,600円	2007年7月18日	100円
ニアピン日経平均22回	ニアピン型	15,600円	15,400円	15,800円	2007年7月18日	100円
ニアピン日経平均23回	ニアピン型	15,800円	15,600円	16,000円	2007年7月18日	100円
ニアピン日経平均24回	ニアピン型	16,000円	15,800円	16,200円	2007年7月18日	100円
ニアピン日経平均25回	ニアピン型	16,200円	16,000円	16,400円	2007年7月18日	100円
ニアピン日経平均26回	ニアピン型	16,400円	16,200円	16,600円	2007年7月18日	100円
ニアピン日経平均27回	ニアピン型	16,600円	16,400円	16,800円	2007年7月18日	100円
ニアピン日経平均28回	ニアピン型	16,800円	16,600円	17,000円	2007年7月18日	100円
ニアピン日経平均29回	ニアピン型	17,000円	16,800円	17,200円	2007年7月18日	100円
ニアピン日経平均30回	ニアピン型	17,200円	17,000円	17,400円	2007年7月18日	100円
ニアピン日経平均31回	ニアピン型	17,400円	17,200円	17,600円	2007年7月18日	100円
ニアピン日経平均32回	ニアピン型	17,600円	17,400円	17,800円	2007年7月18日	100円
ニアピン日経平均33回	ニアピン型	17,800円	17,600円	18,000円	2007年7月18日	100円
ニアピン日経平均34回	ニアピン型	18,000円	17,800円	18,200円	2007年7月18日	100円
ニアピン日経平均35回	ニアピン型	18,200円	18,000円	18,400円	2007年7月18日	100円
ニアピン日経平均36回	ニアピン型	18,400円	18,200円	18,600円	2007年7月18日	100円
ニアピン日経平均37回	ニアピン型	18,600円	18,400円	18,800円	2007年7月18日	100円
ニアピン日経平均38回	ニアピン型	18,800円	18,600円	19,000円	2007年7月18日	100円
ニアピン日経平均39回	ニアピン型	19,000円	18,800円	19,200円	2007年7月18日	100円
ニアピン日経平均40回	ニアピン型	19,200円	19,000円	19,400円	2007年7月18日	100円

日経平均株価(日経平均)は、株式会社日本経済新聞社によって独自に開発された手法によって、算出される著作物であり、株式会社日本経済新聞社は、日経平均自体及び日経平均を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有する。「日経」及び日経平均を示す標章に関する商標権その他の知的財産権は、全て株式会社日本経済新聞社に帰属する。日経平均の算出、公表等の実務は株式会社日本経済新聞社の委託を受けて、その 100%子会社である株式会社日本経済新聞デジタルメディアが運営する。ニアピン e ワラントは、発行会社の責任のもとで組成・運用・販売されるものであり、株式会社日本経済新聞社および株式会社日本経済新聞デジタルメディアは、ニアピン e ワラントを保証するものではなく、ニアピン e ワラントに関して、一切の責任を負わない。株式会社日本経済新聞社および株式会社日本経済新聞デジタルメディアは、日経平均を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延又は中断に関して、責任を負わない。株式会社日本経済新聞社および株式会社日本経済新聞デジタルメディアは、日経平均の構成銘柄、計算方法、その他、日経平均の内容を変える権利及び公表を停止する権利を有している。

e ワラント及びニアピン e ワラントへの投資にあたっては、こちらの手数料及びリスクに関する説明を必ずお読みください <http://www.ewarrant.co.jp/beginner/index2.html>

ニアピン e ワラントの概要

- ・ 対象原資産: 5 月発行分は日経平均株価のみ
- ・ 満期: 発行時から1ヶ月-2ヶ月程度
- ・ 最低必要資金: 数万円程度(1 ワラント当たり数円から数十円程度)
- ・ 取引単位: 1,000 ワラント単位
- ・ 取引価格: ゴールドマン・サックス・インターナショナルが売値・買値を決定
- ・ 取引決済: 取引日の 3 営業日後(通常の株式の決済と同様)
- ・ 配当金等: 配当金、株主優待無し(ただし満期日までの予想受取配当金は予め購入金額の計算に織り込まれています)
- ・ ニアピン e ワラントに関する注意
 - ニアピン e ワラントの最大受取可能額は、1 ワラント当たり 100 円に設定されており、この点においてコール型及びプット型ワラントとは異なります。
 - 同一の満期日を持つニアピン e ワラントを複数保有することによって、一般に満期日に受け取る金額の期待値は上昇しますが、期待リターンは低下します。また、同一満期日を持つ全ての種類の本ワラントを購入しても、一般に投資金額の全てを回収することはできない可能性があります。これは、対象原資産の変動可能範囲をすべてカバーしているわけではないことに加え、ニアピン e ワラントの売値と買値の差や、売買手数料、税金等のコストを考慮する必要があるためです。
 - ニアピン e ワラントのデルタはコール型あるいはプット型の本ワラントとは異なり、正の値も負の値も取りえます。また、一般に、デルタの変化が大きく、例えば対象原資産の価格が大きく動いた場合には、実効ギャリングから想定される以上の値動きとなる可能性があることに注意が必要です。
 - ニアピン e ワラントの最終販売日は e ワラント及びポケット株とは異なり、満期日の2営業日前までです。また、満期日の前営業日は 15 時まで買い取りのみが行われ、それ以降には取引ができないことに特に注意が必要です。
- ・ 従来の e ワラントと共通のリスク
 - 価格変動リスク: 一般に対象原資産に比較して価格変動リスクが高く、損失の可能性が極めて高いものになっています。
 - 信用リスク: 発行者のゴールドマン・サックス・インターナショナル及び保証者のザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクが破綻などの事態に陥った場合には、権利の一部または全部が支払われないことがあります。
 - 取引停止リスク: システムに異常が生じた場合や、対象株式の売買が停止している場合、その他ゴールドマン・サックス・インターナショナルがマーケット・メイクを行わない場合などには、取引ができません。
 - 税務リスク: 総合課税となります。また、将来税制が投資家に有利、又は不利に変更される可能性があります。

eワラント及びニアピン eワラントへの投資にあたっては、こちらの手数料及びリスクに関する説明を必ずお読みください <http://www.ewarrant.co.jp/beginner/index2.html>

- 決済リスク: 事務手続きのトラブル、決済機関のトラブル等により、購入代金の払い込み、売却代金の受取りに支障をきたす可能性があります。
- ミストレード: 「カバード・ワラントのミストレードに関する規定」で定める内容に従い、取扱証券会社から投資家にミストレードの通知がなされた場合には、本規定の手続きにしたがって当該ミストレードは取り消されます。

詳細につきましては、最新の「外国証券内容説明書」にて必ずご確認ください。

ゴールドマン・サックス証券について

ゴールドマン・サックス証券株式会社は、ニューヨーク証券取引所上場の世界最大手の投資銀行、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクの子会社です。1974年に東京駐在員事務所開設、1986年に外国証券会社として初めて東京証券取引所の正会員となりました。投資銀行かつ証券会社の機能を有し日本の企業、金融機関、政府機関、個人顧客に対して、幅広い金融サービスを提供しています。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

ゴールドマン・サックス証券株式会社 コーポレート・コミュニケーションズ

TEL:03-6437-1648

FAX:03-6437-1646

URL <http://www.ewarrant.co.jp>

[ご注意: eワラント及びニアピンeワラントは、取扱証券会社がおお客様のご注文を承り、マーケット・メイクはゴールドマン・サックス・インターナショナルが行います。ゴールドマン・サックス証券は、お客様と直接に該当するeワラントの売買取引その他の金融商品取引法の規制を受ける業務は行いません。]